

氏名	林 裕栄	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	老年看護学、在宅ケア学、地域看護学、家族看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	千葉大学看護学部看護学科卒業(看護学士)、埼玉大学 経済学部経済学研究科経済科学専攻(修士課程)修了(修士(経済学))、日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)修了(博士(看護学))				
経歴	埼玉県保健所勤務(5年間)、埼玉県立衛生短期大学助手・講師、大学保健医療福祉学部看護学科講師・准教授を経て、平成26年～埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会(査読委員)、日本在宅ケア学会、日本看護学会、日本地域看護学会、日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事、総務委員長)等				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	イラストでみる社会福祉用語事典(第2版)	共著	医学評論社(東京)、全523頁	飯塚慶子・林裕栄他	2017.6
2					
3					
(2) 論文					
1	看護学生と地域高齢者との世代間交流プログラムがもたらす効果に関する研究	共著	地域ケアリング、19(13)、100-102	張平平、林裕栄	2017.12
2	地域高齢者と看護学生の世代間交流に関する研究	共著	保健医療福祉科学、7: 67-73	林裕栄、武田美津代、張平平、畔上光代、水間夏子、木村伸子、福田彩子	2018.3
	Difficulties Shared by Visiting Nurses Supporting People with Mental Disorders	単著	Yearbook on Journal of the Japan Society of Nursing Research, 19-27, 2017	Hiroe Hayashi	2018.2
(3) 学会発表					
1	脳卒中高齢者の在宅生活が続けられる要因。日本老年看護学会第22回学術集会	共著	日本老年看護学会第22回学術集会、名古屋	○張平平、林裕栄	2017.6
2	Higher-level functional capacity among the community-dwelling elderly in Japan	共著	International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG), Sanfrancisco	○Pingping Zhang, Hiroe Hayashi, Hideo Sato, Takeshi Yamashita	2017.7
3	地域住民の人生の最終段階の療養に関する意識	単著	日本老年看護学会、名古屋市	○林裕栄	2017.6
4	看護学生と地域高齢者との世代間交流による健康支援プログラムの効果	共著	日本看護学会(在宅看護)、つくば市	○畔上光代、林裕栄、武田美津代、木村伸子、須賀夏子	2017.9
5	専門職連携を進める精神地域ケア事例検討会の試み	共著	日本看護学会(精神看護)、松江市	○横山恵子・林裕栄・松本佳子・藤田茂治	2017.9
6	新卒者等訪問看護師の育成と適応プロセスに関する研究	共著	日本看護学会(在宅看護)、つくば市	○林裕栄、武田美津代、藤川あや、他	2017.9
7	看護学生の訪問看護のイメージ-新卒者の就職先としてなり得るか-	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第8回学術集会、越谷市	○新井由美、林裕栄、須賀夏子	2017.10
8	Effects of an intergenerational exchange program between nursing students and community healthy elderly	共著	7th INTERNATIONAL CONFERENCE ON FRAILTY & SARCOPENIA RESEARCH (ICFSR2018)、Miami	○Hiroe Hayashi, Pingping Zhang	2018.3
(4) その他					
1	看護師国家試験のためのメディックメディア模試2017	共著	(株)メディックメディア	石井由利子・林裕栄他	2017.9

2	ケアマネ2018	共著	(株)メディックメディア	井上善行・林裕栄他	2017.12
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		看護学生と地域高齢者との世代間交流プログラムがもたらす効果に関する研究(研究分担者)		2015.4~2018.3
2	平成27、28、29年度埼玉県立大学奨励研究:学長プロジェクト		武里団地における住民主体の健康なまちづくりー若者と築く「健康長寿武里モデル」(武プロ)-研究分担者		2016.4~2018.3
3	2017年度(後期)「在宅医療研究への助成」		精神科訪問看護を実施する訪問看護ステーションのケアの質向上のための取り組みとネットワーク構築の評価ー研究分担者		2018.2~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	家族看護学	2017.4~2017.6	科目責任者として、独自に冊子を作成。視聴覚教材の利用を行った。		
2	老年看護学 I	2017.10~2017.11	老年看護分野の制度政策など新しい情報を取り入れるようにした。		
3	認知症看護	2017.10月	科目責任者として、最新情報やゲストスピーカーを招き実践的な内容にした。		
4	老年看護学 III	2018.1	老年看護学実習 II の体験のリフレクションを通して実習後の学生の学びが深まるように助言した。また、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割等について教授した。		
5	卒業研究	2017.4~2018.2	学生の希望にそったフィールドを開拓し、研究計画書作成、倫理委員会提出、調査の実施、論文作成の一連の基本的な研究プロセスを経験できるように教授した。		
6	大学院:地域ケア支援論	2017.10~2018.2	科目責任者として、在宅療養者をもとに、地域保健福祉制度の変遷、医療提供体制や診療報酬・介護報酬の流れ、今日における地域ケアの動向と課題を教授した。		
7	大学院:老年看護援助論	2017.10月	博士前期課程の大学院生を対象に超高齢社会の情勢に応じた高齢者理解のための援助方法について教授した。		
8	女性と健康	2017.7月、12月	大妻女子大学短期大学部非常勤講師として前・後期各2回講義を行った。「メンタルヘルス」「精神疾患(統合失調症とうつ)」		
(2) 演習					
1	老年看護学 II	2017.4~2017.7	講義の一部を担うとともに、看護過程のGW、演習を担うことで、後期実習に向けて学生が準備ができるように助言した。		
2	大学院:看護学演習(地域ケア支援)	2017.10-2018.3	科目責任者として、前期課程の大学院生へのゼミを実施し、研究計画書作成に向けて指導を実施した。		
3	大学院:看護学演習(老年看護)	2017.10-2018.3	博士前期課程の大学院生へのゼミを実施し、研究計画書作成に向けて指導を実施した。		
(3) 実習					
1	老年看護学実習 I	2017.4~2017.6	科目担当者として、2か所の老人福祉センターにて、2年次の学生が高齢者の対象特性を理解し、コミュニケーションがとれるよう指導した。また、施設および施設利用者と学生との懸け橋になるように努めた。		
2	老年看護学実習 II	2017.10~2017.12	新規施設があったため、学生への学びが深まるように、特に施設職員と意見交換を密にして連携して支援した。また、学生にとって有効な学びが得られるように施設間の調整を行った。		
3	総合実習	2017.4~2017.8	学生の課題の達成に向けて、実習前のゼミの開催や施設との調整を行い事前に学習環境を整えるとともに、実習時においては効果的な学びが得られるように学生指導を行った。		
4	IPW実習	2017.7~2017.10	多学科の学部生6名に対して、IPWの目的・目標、プロセスにそって実習の円滑化を図れるようファシリテーションを実施した。また、ケアプランの作成においては、多職種連携を視野に入れた指導・助言を行った。		
(4) 論文指導					
1	大学院(博士前期課程)修士論文	2017.4~2018.3	主指導:1名、副指導:1名、修士論文審査主査として1名担当		
2	卒業研究	2017.4~2018.3	担当:1名		
3					
(5) その他					

1	老年看護学実習Ⅱ指導者会議の開催	2018.2.23	実習指導者と実習の進捗状況、課題等を話し合った。
2	高校説明会(学内・学外)2回	2017.6	県内の高等学校の教員に対して本学学生支援についての説明を行った。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	新卒者等訪問看護師育成研修	埼玉県訪問看護ステーション協会	訪問看護師としてのキャリアをデザインする、事例検討会(月1回)
2	平成29年度保健指導支援事業保健指導ミーティング	埼玉県看護協会	保健師としてのキャリアをデザインする
3	第5回にじさんぼセミナー	NPO法人にじさんぼ	健康でいるために
4	平成29年度介護支援専門員研修会	埼玉県社会福祉協議会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義(2回)
5	平成29年度主任介護支援専門員研修	埼玉県介護支援専門員協会	在宅での看取りケア(4回)
6	平成29年度埼玉県看護連盟研修会	埼玉県看護連盟	基調講演「人々の暮らしを支える 看護職への期待」及び座長
7	平成29年度市町村保険事業担当者研修会	埼玉県後期高齢者医療広域連合	高齢者とフレイル
8	平成29年度志木市介護支援専門員連絡会研修	志木市役所	在宅での見取りケアについて
9	さいたま市社会福祉協議会 事例検討会	さいたま市社会福祉協議会	事例検討会スーパーバイザー(2回)
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市役所	開発審査委員	2017年～
2	もくせい家族会	評議員	2017年～
3	埼玉県訪問看護ステーション協会	顧問	2016年～
4	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者等訪問看護師育成プログラム作成委員会	2015年～
5	認知症者と家族の会	相談世話人	2003年～
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	学生支援センター長に伴う所掌業務(学生支援委員会、保健委員会、障害学生支援検討会、等)		
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事(総務委員長)		
3	埼玉県立大学創立20周年記念事業実行委員会広報部会長		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
認知症者と家族の会(若年のつどい)への学生ボランティアの派遣(2013年から継続)			
春日部保健所と共催による小児慢性疾患患児への学生ボランティアによる家庭訪問支援(2014年から継続)			
埼玉県訪問看護ステーション協会の理事らとともに県内の既卒採用訪問看護師の育成に継続的にたずさわっている。			
草加市内「みんなの保健室陽だまり」メンバーとして、地域包括ケアを担う元気高齢者へのボランティアへの支援を行っている。加えて市内のNPO法人への支援も実施している。			